

太田“東奔西走”薬局

お客様の安心と笑顔のために、走る



これは先月、
小学1年生のMちゃんの入院先にお見舞いに出かけた時の模様です。

薬局専属フラガールがフラダンスを踊っています（笑）

高熱がなかなか下がりず、入院生活は長期化の気配。
夜も泊まり込んでのお母さん、ご家族の疲労心労はピークに・・・

Mちゃんと太田東西薬局は、お母さんの子宮の中からのお付き合い。
「自分に何が出来るか？」
考え、考え抜きました。

すると、ピカッ！とひらめきました。

「病は気から」だ！

検温、採血、服薬、点滴の繰り返しの毎日。気分は滅入って当然です。
そして親にとって最も辛いことは、子どもの病気でしょう。
元気がない、食欲がない、笑顔がない、会話がな、苦しそう・・・

そうした娘の姿に心を痛めながらも、病室で気丈に看病するお母さんの
頑張りを想像した時、再びひらめきました。

「母子ともに元気にすること」だ！

病室に漂う「不安」「緊張」「マイナス思考」を振り払うことが、何よりも今
大切ではないか？ それが免疫力アップにもつながるはず。

ではそのために、何が一番必要か？

「笑顔」だ！

「大丈夫！必ず治る！という安心感」を届けに行くんだ！

思い立ったら行動の早い、太田東西夫婦。
Mちゃんの病室に“小道具”を持参して駆けつけました。

ちょうど、薬を飲む時間でした。



到着するなり、「やっぱり来てよかった！」
私の中に確信するものがありました。

フラダンスを楽しんだMちゃん。

最後はフラガールから、レイをかけてもらいました～(*´ `*)



ただ、小学生に小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」は無理があった・・・(苦笑)

しかし、応病与薬の太田東西。

妻のフラダンスは即興の前座で、Mちゃんに応じた“出し物”をしっかりと用意していたのでした。

6歳の女の子 アニメ きれいな女性が主人公
昨年、大ヒットした映画「アナと雪の女王」を思いつきました。

熱が下がらない・・・

ならば、病室に吹雪もたらして、クールダウンしてあげよう！

雪の女王「エルサ」となって



「Mちゃんの全快のために！」

そして、ついにその時が！！（° ° III）



悩んでいた それももう～やめよう～～～
ありの～～まもの～～～ 姿みせるのよ～～～
ありの～～まもの～～～ 自分になるの～～～
何も～こわく～な～い～～ 風よ～ふ～け～～
すこ～しも “熱はないわ”！

“フラダンス&アナ雪”を親子で鑑賞したお母さん、
「久しぶりに大笑いしました、気分がとても楽になりました」
涙で喜んでくださいました。1時間に及ぶトーク&出し物でした（笑）

翌朝、Mちゃんの体温は36度代に下がり、
3日後、無事に退院できたのでした！！ \ (^o^)/

右の写真はそれから2週間後、“お礼参り”に来てくれた時のツーショット。
青のドレスではなく、もちろん「白衣」が太田東西の本業ですよ！（笑）

